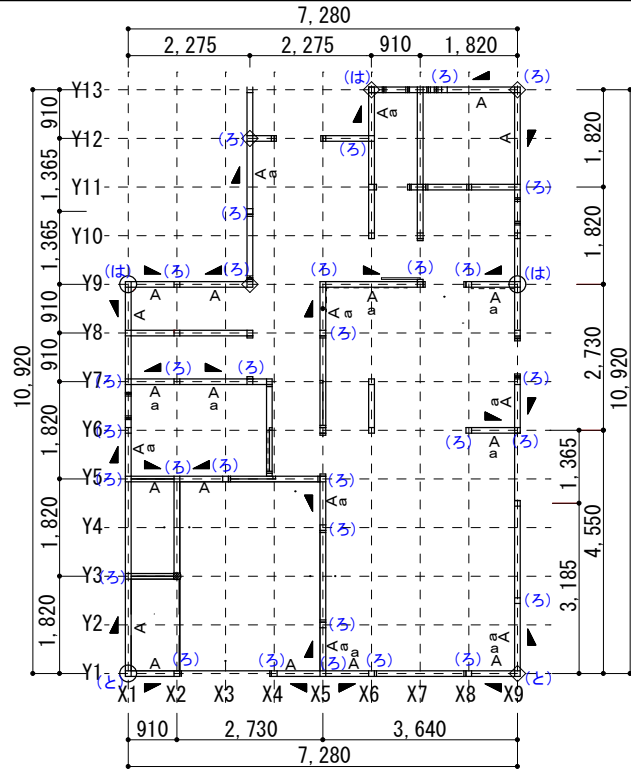
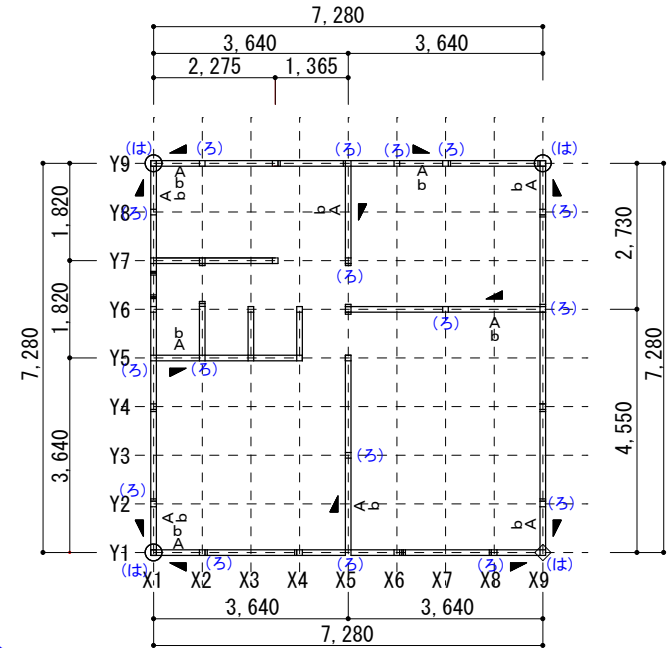


■1階 壁量平面図



■2階 壁量平面図



<凡例>

- A : 筋交い45×90シングル
- B : 筋かい45×90ダブル
- a : 石膏ボード床勝ち大壁
- b : 石膏ボード床勝ち大壁

※平12年告示第1460号に基づく金物記号を記入
 ※N値計算法を採用する場合は、別に計算書を添付のこと

■表1 耐力壁・準耐力壁仕様一覧

種類	壁記号	仕様名	基準倍率	係数	開口有無	開口高さ (cm)	取付高さ (cm)	下地貼材高さ (cm)	垂壁高さ (cm)	腰壁高さ (cm)	下地貼材実高さ (cm)	横架材間内寸法 (cm)	有効壁倍率	最低厚さ (cm)	規格	釘打ちの方法		
																種類	間隔 (mm)	
耐力壁	A	筋交い45×90シングル	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00	—	—	—	—
	B	筋かい45×90ダブル	4.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.00	—	—	—	—
準耐力壁	a	石膏ボード床勝ち大壁	0.9	0.6	無	0.0	0.0	240.00	240.00	0.0	240.00	278.6	0.46	12.0	JIS A6901-2005	GNF40又はGNC40	150mm以下	
	b	石膏ボード床勝ち大壁	0.9	0.6	無	0.0	0.0	240.00	240.00	0.0	240.00	270.0	0.48	12.0	JIS A6901-2005	GNF40又はGNC40	150mm以下	

■表2 壁量判定

階	方向	地震力に対する床面積当たりの必要壁量			風圧力に対する見付面積当たりの必要壁量			必要壁量の算定				存在壁量 (cm)	壁量判定 必要壁量<存在壁量
		床面積 (m ²)	係数 (cm/m ²)	必要壁量 (cm)	見付面積 (m ²)	係数 (cm/m ²)	必要壁量 (cm)	地震力 (cm)	記号	風圧力 (cm)	必要壁量 (cm)		
2	X方向	52.99	(23)	1,218.77	17.51	50	875.50	1,218.77	>	875.00	1,218.77	1,579.76	OK
	Y方向				17.51		875.50	1,218.77	>	875.00	1,218.77	1,805.44	OK
1	X方向	69.14	(35)	2,419.90	39.76	50	1,988.00	2,419.90	>	1,988.00	2,419.90	3,196.74	OK
	Y方向				49.78		2,489.00	2,419.90	<	2,489.00	2,489.00	2,903.81	OK

↑表計算ツールにより算定

■表3 存在壁量の算定

階	方向	壁記号	有効壁倍率	壁長 (cm)	存在壁量 耐力壁 (cm)	存在壁量 準耐力壁 (cm)	存在壁量 合計
		b	0.48	637.00	305.76		
	Y	B	2.00	728.00	1,456.00		1,805.44
		b	0.48	728.00	349.44		
1	X	A	2.00	1,410.00	2,820.00		3,196.74
		a	0.46	819.00	376.74		
	Y	B	2.00	1,274.00	2,548.00		2,903.81
		a	0.46	773.50	355.81		

■表4 準耐力壁等の必要壁量に対する割合の確認

階	方向	必要壁量 A (cm)	準耐力壁量 B (cm)	B/A C	判定 C<0.5
2	X	1,218.77	305.76	0.25	OK
	Y	1,218.77	349.44	0.28	OK
1	X	2,419.90	376.74	0.15	OK
	Y	2,489.00	355.81	0.14	OK

工事名 ※小屋裏物置の面積が直下階の床面積の1/8を超える場合は、各階床面積を加算 (図面0-7参照)
熊本 太郎 邸 新築工事

一級建築士事務所 **〇〇センター建築設計事務所**
 一級建築士事務所 〇〇〇知事登録 第〇〇〇〇号 建築 次郎
 一級建築士 〇〇〇〇大臣登録 第〇〇〇〇号

図面名

壁量計算図、同表

図面NO

0-10

備考

熊本市中央区水前寺6丁目3番1号

TEL 096-000-0000
 FAX 096-000-0000

縮尺 1/100